

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型ライフサポート一互一笑 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年10月15日 ~ R7年10月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R7年10月15日 ~ R7年10月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年11月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型の事業所である利点を生かし、放課後等デイサービスのデイルームだけでなく生活介護、就労との共有スペースの活用が図れると同時に、繁忙時の職員の応援体制が可能であること。また、様々な年令の利用者様との交流などが図れること。	当日の利用人数や状況に応じて、共有スペースや別室を活動スペースや個室として利用できる。また、他のサービスのイベントへの参加なども可能である。	事業所内にとどまらず、同法人の他事業所（羽咋事業所、グループホーム海と空など）のイベントに参加するなど就労体験、調理実習活動などの取り組みを活動に組み込んでいくことができる。
2	職員の資質の向上のため、研修の機会が毎月1回以上設けられており、それにより障害についての知識や理解を深めることができる。また、人間性の向上や虐待防止、感染防止等についても勉強できること。	部署ごとに毎月勉強会を開催し、職員が講師となり障害についての専門的な理解を深めるための課題を設定し、資料を作成したり伝達することにより、全員が学ぶことで報告書を提出し有効性を評価している。	外部研修に参加した職員が、研修で学んだことを一人のものにせず、他職員へ伝達研修というかたちで共通理解を深めている。
3	日々の支援の記録に関して、丁寧に記録をとることが徹底されており、その記録を元に日々の支援の検証・改善とともに個別支援計画の進捗確認や見直しにつなげていること。	ケア記録の共有により日々の支援の様子を職員全員が把握できるのはもちろん、連絡帳や送迎時のご家族様とのコミュニケーションを大切に情報共有を図っている。	一人ひとりの課題やニーズを職員全員が把握し、共通した支援を実施するとともに、子どもとご家族の最善の利益を追求していくことに努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善のためにPDCAサイクルの取り組みを実施していくこと。	震災の影響で、放課後デイサービスは9月に再開されたため業務改善のための目標設定や支援の振り返りについてはまだ取り組むことができていない。	ようやく通常のサービス提供ができるようになったので、業務改善についても問題点の抽出や新たな課題の把握を行い、早急に個人目標の設定や振り返りを実施していく。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫をしているが、震災の影響で近隣に使用できる施設（公共施設・公園・アリーナ等）が少なくなり、様々なプログラムを組み込むための資源が不足している。	震災の影響で利用児童数が減少したことや、児童の学齢が上がり下校時間が繰り下がったことで利用時間が短くなっている。そのため、個別のプログラムを組み込むことが時間の制約があり難しい。	一人ひとりの特性や課題に応じて、活動プログラムが固定化しないよう、曜日、利用者、利用時間に応じてきめ細やかに個別のプログラムを計画する。
3	身体拘束について、職員には虐待防止委員会の設置や研修等への参加により周知徹底がされているが、放課後等デイサービスの個別支援計画には身体拘束についての項目が記載されていない。	障害特性に応じて、危険が伴う場合に限りやむを得ず身体拘束を行う場合があることを保護者様に個別に説明・同意を得ている。また、やむを得ず身体的拘束が必要な場合は、計画書に記載することになっている。	身体拘束について組織的に決定した事項をそれぞれ保護者様や子どもたち本人に説明・同意を得ながら、わかりやすい説明を心がけていく。

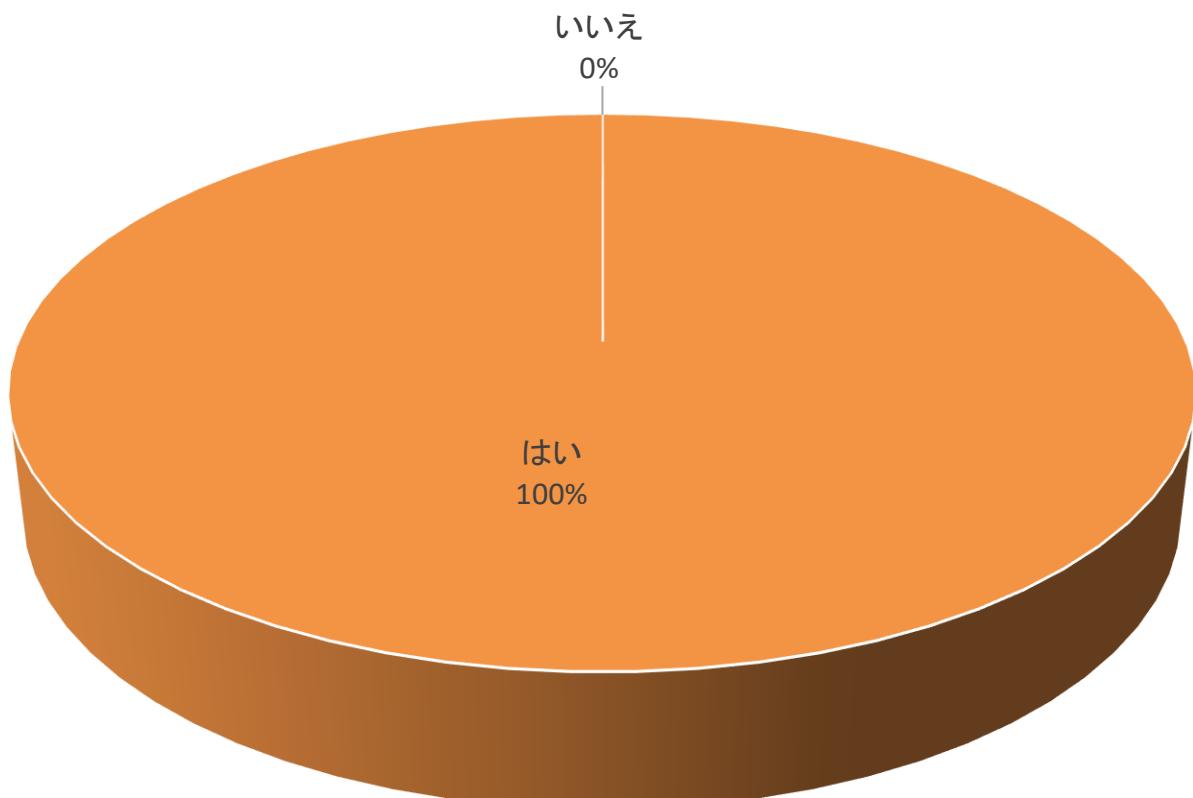
放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年12月1日

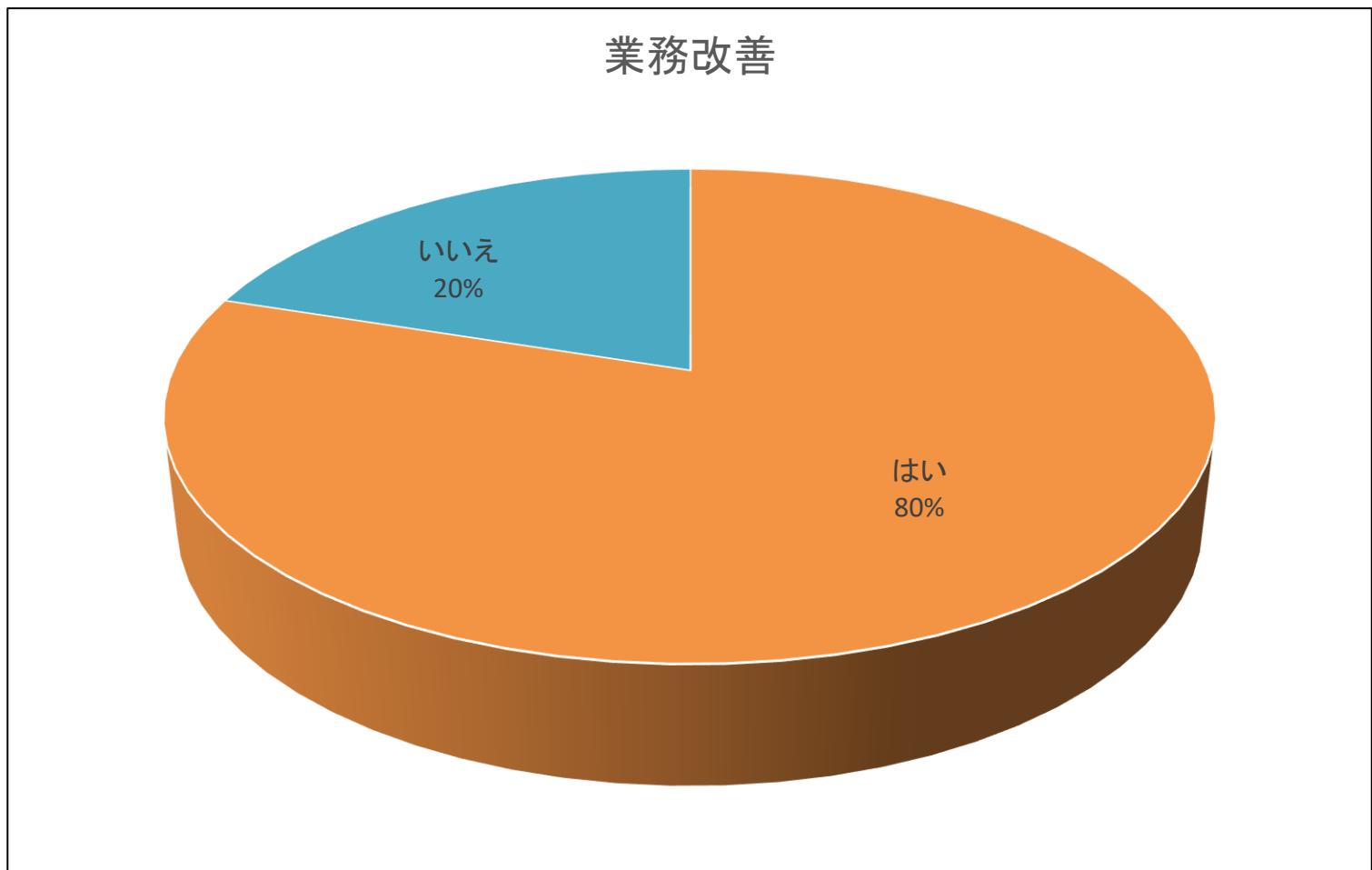
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	* 土曜日などは使用していない部屋を活用して創作活動などを行っている。 * 定員数全員が来所すると狭いと感じることがあるので、利用人数に合わせ交流スペースや別室を利用する等していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	* 土曜日等児童発達の子どもの利用が多い場合には他部署より応援に入つてもらい対応している。 * 職員の配置数は適切であるが、利用者数に応じて基準以上の人員を配置し、安全の確保を図っていく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	* 障害特性に応じた環境づくりを心掛けており、設備等の改善を図った部分についてはおたよりで情報伝達を行っている。 * 震災の影響で施設の設備に修理が必要な部分があり、早急に改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	* 室内にトランポリンやマットを配置し、雨の日でも軽い運動ができるなど飽きない工夫になっている。 * 活動に合わせて机の配置を変えたり空間を仕切るなどして対応していく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	* 必要に応じてテレビルームやロフトなど、個人で使用できる場所を設けている。 * 放課後のお部屋だけでは個別の部屋が足りないので他の開いている部屋を活用していく。
合計		25	0		

環境・体制整備

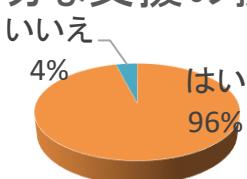


		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	* PDCAサイクルに職員が参画できるよう支援振り返りシートを設けている。 * 震災以降出来ていない時期があったが、定期的に目標設定と振り返りができるよう仕組みを整えていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	* 年に1度のアンケート実施を元に、業務改善の参考にしている。 * 評価表を元に、職員で検討し、業務改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	* 毎月の職員会議でその都度話し合いを行い、その内容を業務改善につなげている。 * 職員会議で話し合った意見を全体会議で再度討論し、業務改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	* 第三者による外部評価は行っていないが、保護者からの意見を聞き改善している。 * 保護者からの意見を参考に改善を図っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	* 毎月1回以上、スタッフが講師で研修を行っているほか、人選し外部研修にも参加している。 * 外部研修にも交替で参加し、全員に伝達研修を実施していく。
合計		20	5		



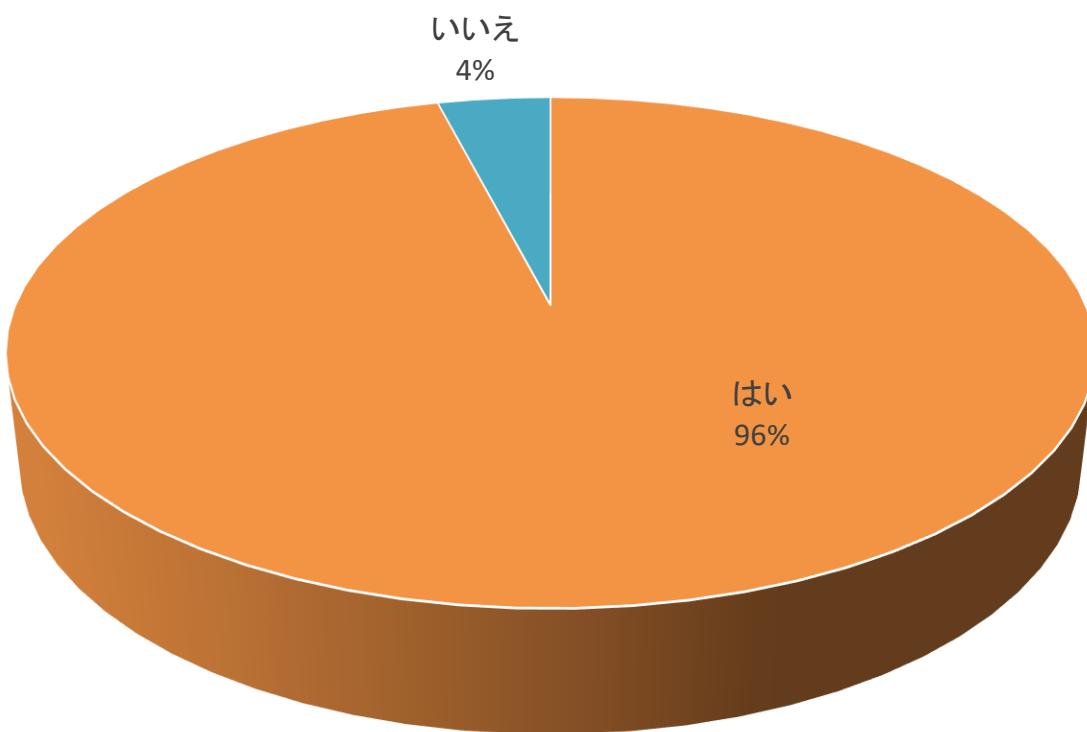
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	0	* 個別支援計画を元に一人ひとりの支援プログラムを作成し、ご家族にも説明している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5	0	* 放課後等デイサービス計画作成には日々のアセスメントによるニーズの把握と計画への反映を心掛けている。 * 放課後等デイサービス計画の内容について、スタッフ全員の共通理解を図っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5	0	* モニタリングや支援会議等に子どもの支援に関わる職員全員が参加し、子どもの最善の利益について情報共有している。 * 放課後等デイサービス計画について情報共有した上で子どもの最善の利益を考慮して内容を検討していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5	0	* モニタリングや支援会議等に子どもの支援に関わる職員全員が参加し、放課後等デイサービス計画について情報共有している。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5	0	* 子どもの支援に関して、日々の記録やミーティング時にアセスメントを行うなど、職員全員が確認するようにしている。 * 朝礼・終礼時に情報共有する時間をとてアセスメントを行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5	0	* 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインのねらいや支援内容など必要な項目を設定し、放課後等デイサービス計画に反映するよう具体的な支援内容を設定している。 * 設定された具体的な支援内容をスタッフ全員が共通理解し、支援を実施していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4	1	* 担当者が作成した活動プログラムについてチームで検討している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		3	2	* できるだけ固定化しないように工夫しているが、マンネリ化している部分は改善していく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		5	0	* 個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		5	0	* 朝のミーティング時に打ち合わせを行い、職員の役割分担等について確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		5	0	* 支援終了時にミーティングを行い、支援について情報共有を行い、終了時に発表している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		5	0	* 日々の記録物はその日に作成し、各自が目を通せるようにし、支援の検証や改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		5	0	* 毎月の職員会議においてモニタリングを行い、計画の進捗状況の確認や見直し等について検討している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。		5	0	* 計画作成時に放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」の中から複数を組み合わせて支援計画し、計画に沿って支援している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		5	0	* 自己決定する力を育むよう支援計画を作成し、それに沿った支援の工夫をしている。
合計			72	3		

## 適切な支援の提供



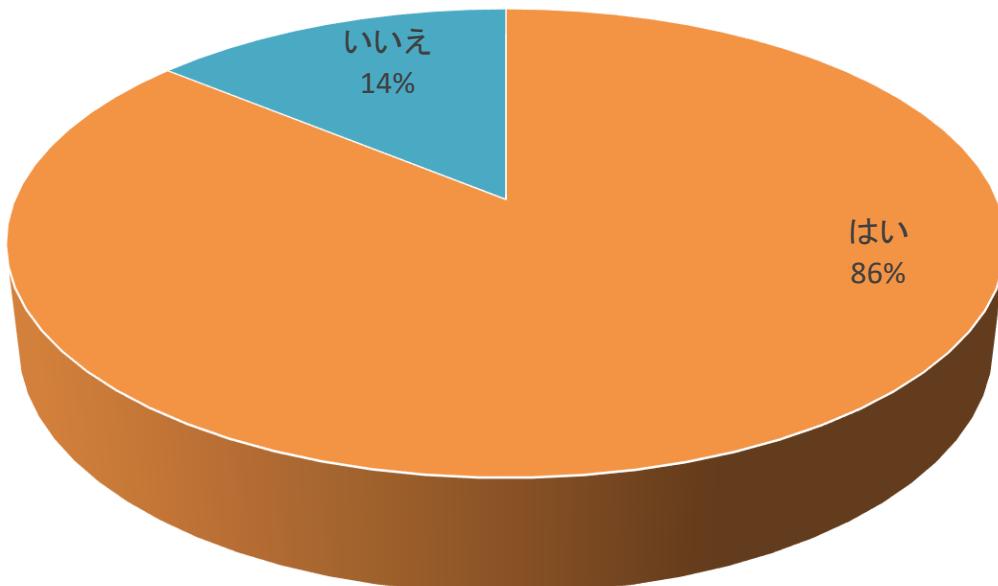
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。		5	0	* サービス管理責任者と共に、放課後等デイサービスの担当職員が一緒に参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5	0	* 地域の関係機関との連携体制を整えており、必要に応じて支援の協力をしていくようになっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		5	0	* 学校との情報共有については、保護者を通じて連絡をいただくほか、緊急時には学校に直接確認をするなどして適切に行うようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	1	* 就学前に移行支援会議を開催するなど、情報共有と相互理解をしている。 * 移行支援会議にはサービス管理責任者と共に担当者も参加し、事前準備のための情報収集を行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	0	* 学校卒業前に、関係機関で情報共有のための支援会議を開催し、情報を共有している。 * 移行支援会議にはサービス管理責任者と共に担当者も参加し、移行のための情報提供を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5	0	* 管理者が会議に参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	1	* 今年度は放課後等デイサービスは9月からサービスを再開したため、そのような機会はまだ設けられていない。 * 今後は、状況に応じて活動に参加していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	0	* 相談支援専門員が会議に参加している。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		5	0	* 毎日の送迎時や連絡帳などで保護者とのコミュニケーションを図り、共通理解に努めている。 * 保護者とのコミュニケーションを積極的に図り共通理解を持つようにしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	0	* 家族支援プログラムについては職員が研修で学んでおり、必要時にはご家族に参加いただけるよう情報提供している。 * 必要と思われる時にはご家族に情報提供し参加していただくようにする。
合計			48	2		

### 関係機関や保護者との連携

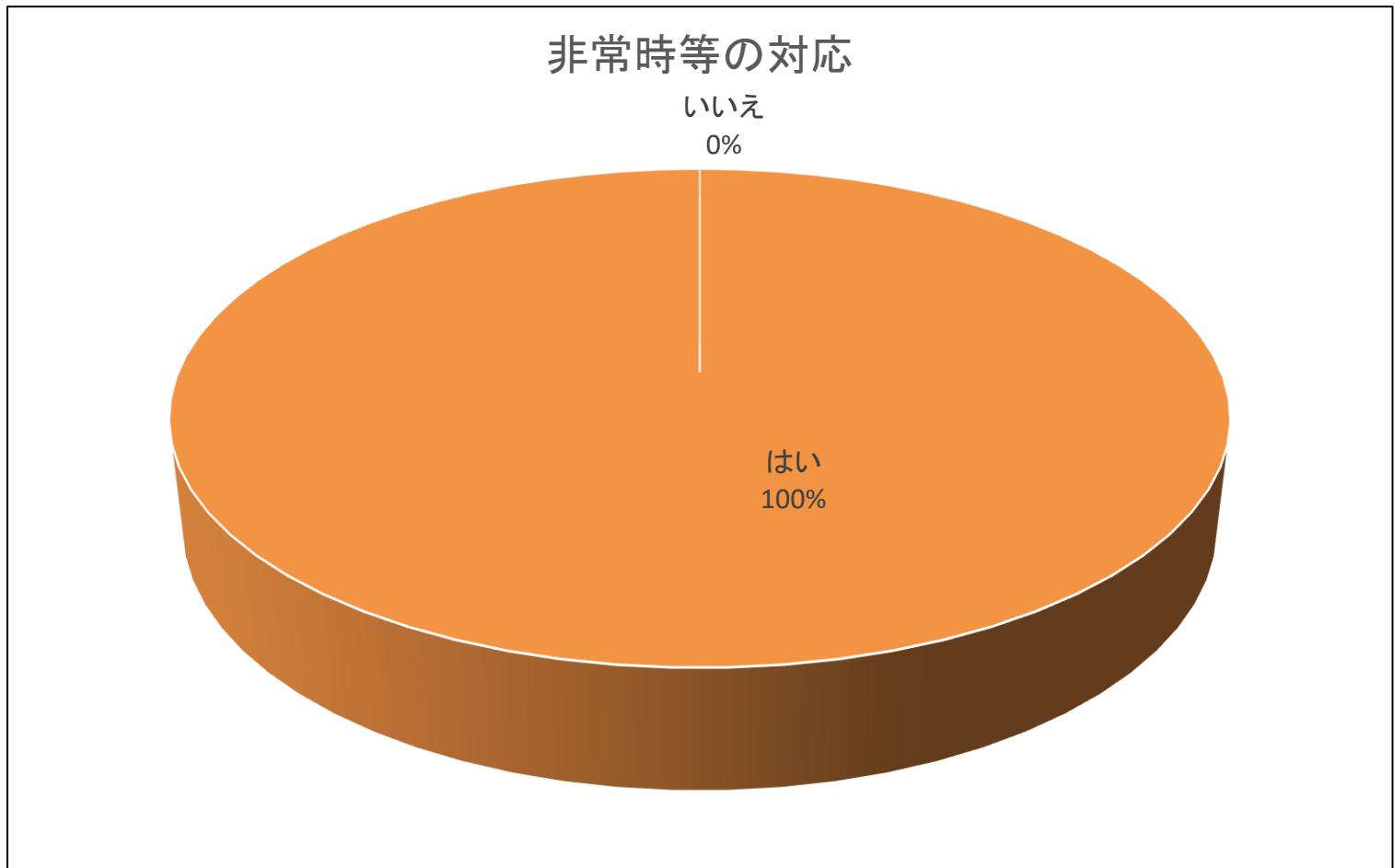


		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		* 契約時に口頭と書面で説明を行っている。 * 分かりやすく丁寧な説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		* 契約時に口頭と書面で説明を行い、支援計画時に保護者や子どもたちの思いを受け止め、最善の利益を優先した支援を行えるように確認している。 * 丁寧なアセスメントを実施し、子どもの最善の利益の最優先を考慮して、子どもや家族の意向を確認していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		* 計画書作成時に、書面を提示しながら口頭で説明を行い、同意をいただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		* ご家族の相談や申し入れに隨時対応できる体制を整えるとともに、面談や助言を隨時行えるよう対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2		* 今年度は放課後等デイサービスは9月からサービスを再開したため、そのような機会はまだ設けられていない。 * 今後は定期的に開催できるよう計画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		* 苦情担当窓口を設けるなど体制は整っており、迅速かつ適切に対応していく。 * 苦情については真摯に受け止め、組織として迅速に誠実に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		* 定期的に通信等を発行し、HPやSNS等でも活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。 * 情報発信時には活動概要や行事予定、連絡体制等の必要な内容を入れ、子供や保護者に見てもらえるよう情報提供していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		* 職員に周知徹底している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		* それぞれの障害特性に応じた意思疎通の配慮を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		* 今年度は放課後等デイサービスは9月からサービスを再開したため、そのような機会はまだ設けられていない。
合計		43	7			

## 保護者への説明責任等



		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	* 各マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。 * 訓練の実施にあたり、ご家族等にも主要な情報を提供し周知していく。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	* 業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	* 利用開始時と毎年年度初めに服薬や予防接種、発作等の子どもの状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	* 基本は弁当持参を原則とし、ご家族の同意の元食物アレルギーの食品が除去できる場合は取り除く等の対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	* 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施の上、安全管理に留意して支援を行なっている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	* 子どもの安全確保に関して、お便りやSNS等で安全計画に基づく取組内容について周知し、家族等との連携が図られるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	* 毎月の全体会議や職員会議等でヒヤリハットの内容を共有し、再発防止に向けた方策について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	* 虐待防止のため、虐待防止委員会を設置し、職員の研修会を実施する等の取り組みをしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	* 虐待防止委員会を設置し、身体拘束について職員の理解を図り、組織的に決定するようにしている。 * 身体拘束についての研修に職員全員が参加し理解を深め、必要に応じて子どもや保護者に説明し了解を得られるようにしていく。	
合計		45	0			



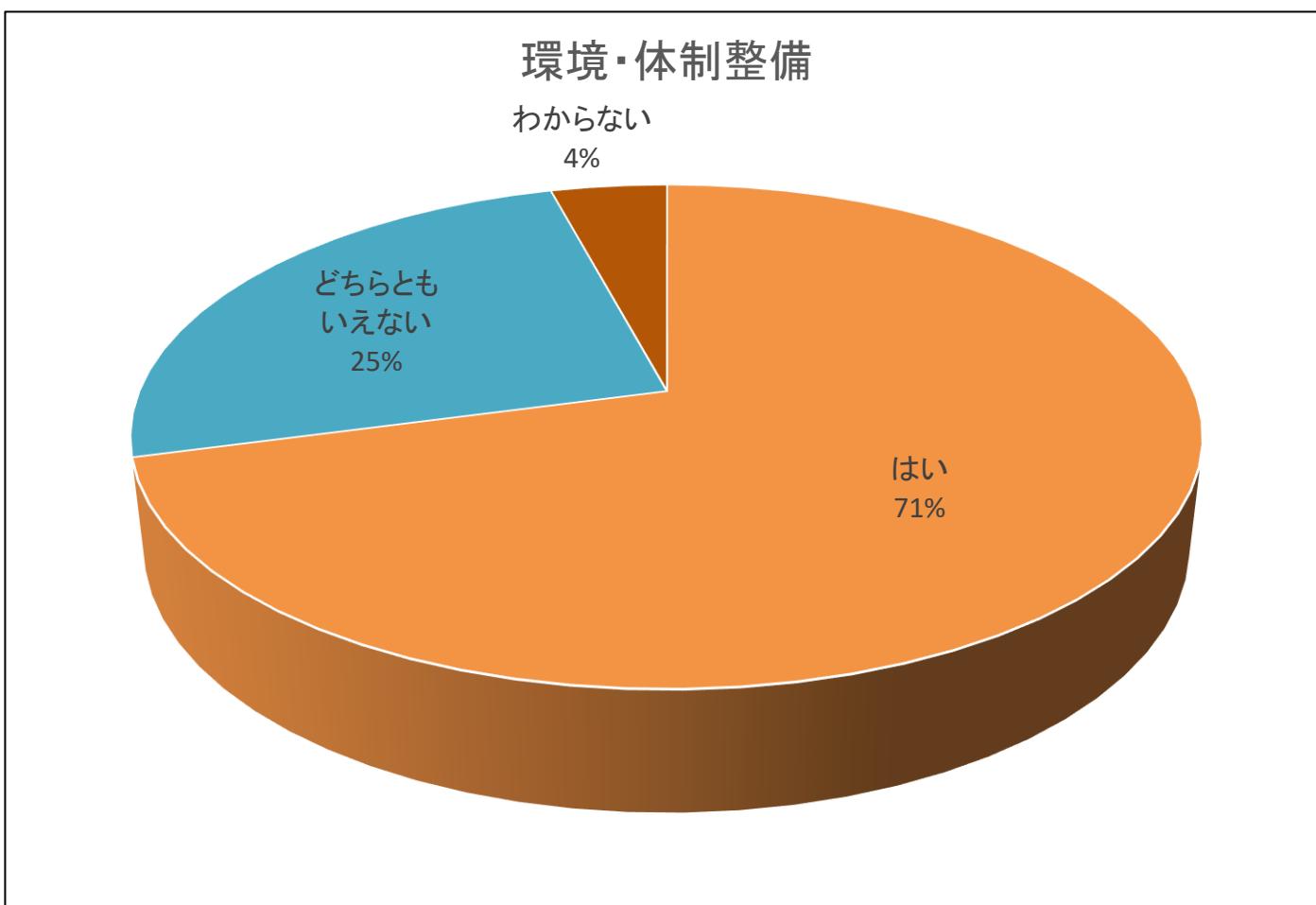
## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和7年12月1日

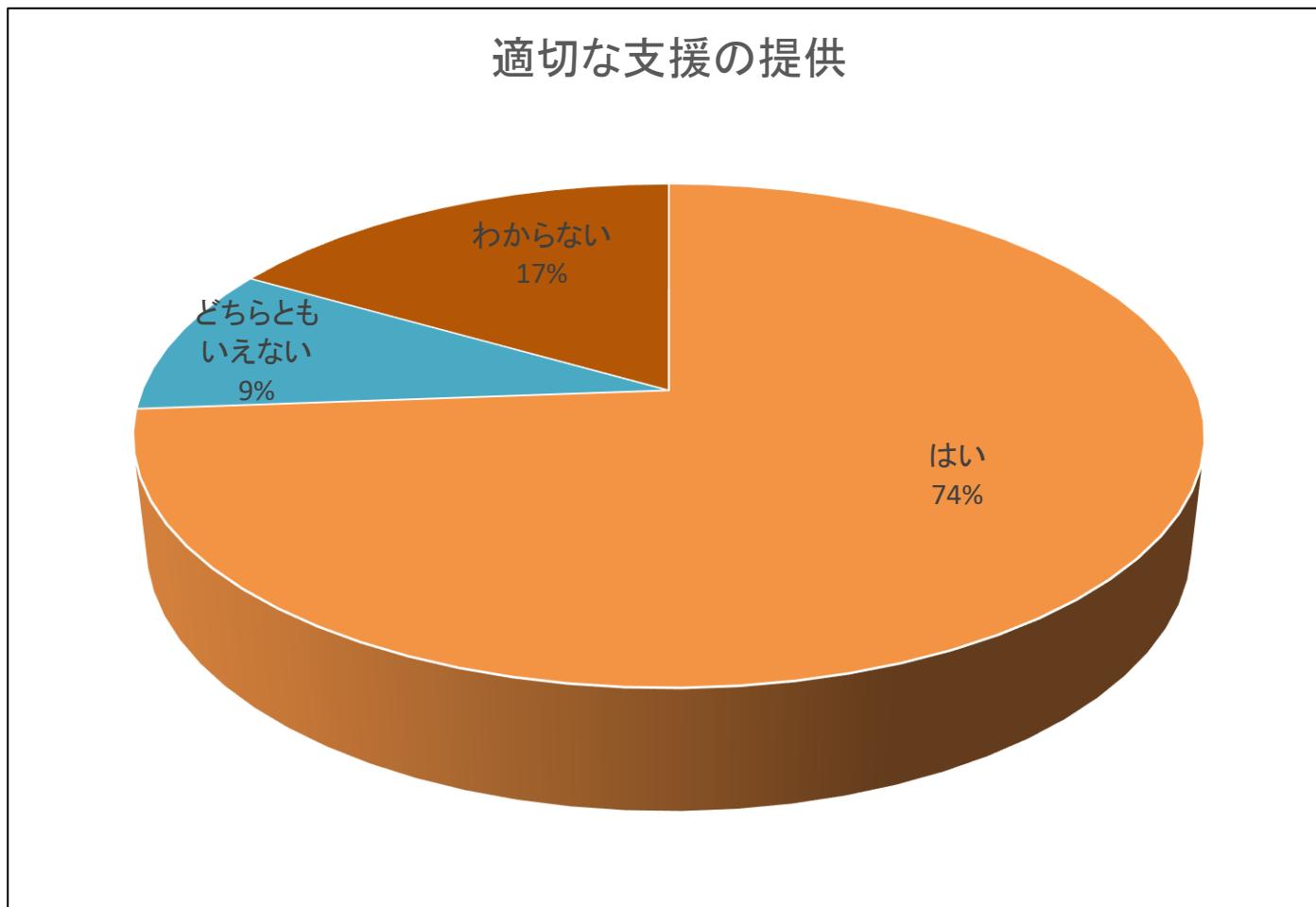
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

保護者等数(児童数) 回収数 6 割合 100 %

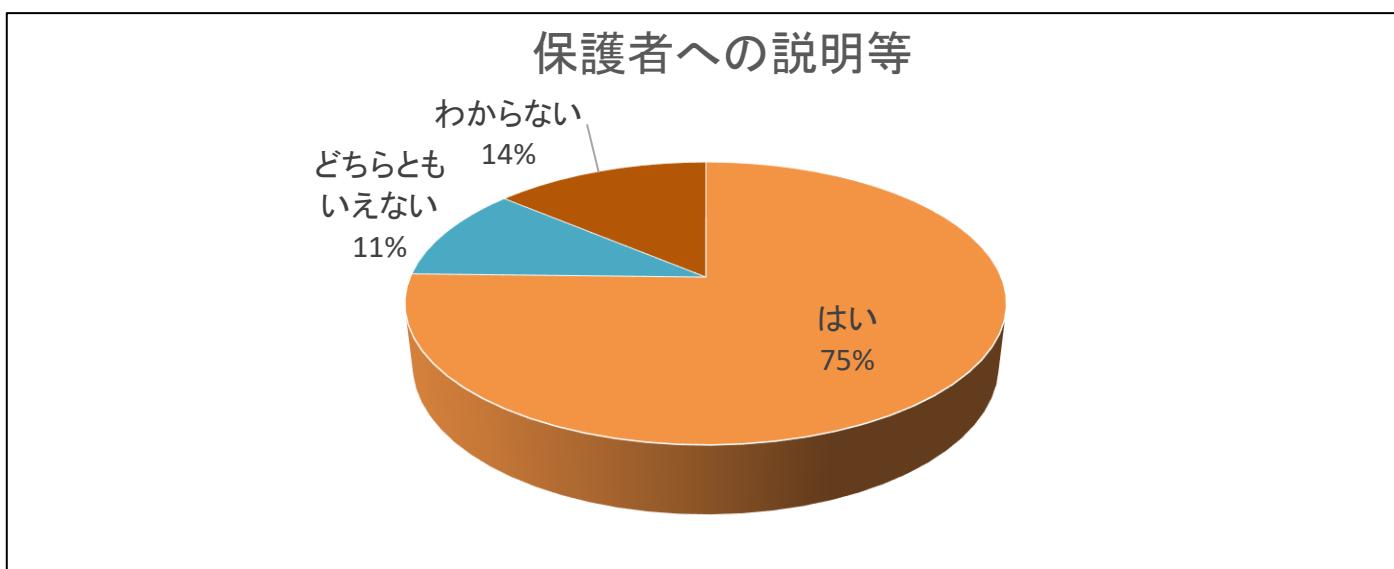
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2	0	0		* 当日の利用人数に合わせ、交流スペースや別室を利用する等している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	2	0	1		* 基準に応じた人員を配置し、安全の確保を図っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1	0	0		* 障害特性に応じた環境づくりを心掛け、設備等の改善を図った部分についてお便り等に明記し、情報伝達している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1	0	0		* サービス開始前と終了後、部屋の清掃や玩具の消毒を行い、活動に合わせて空間を仕切るなど工夫している。
合計			17	6	0	1		



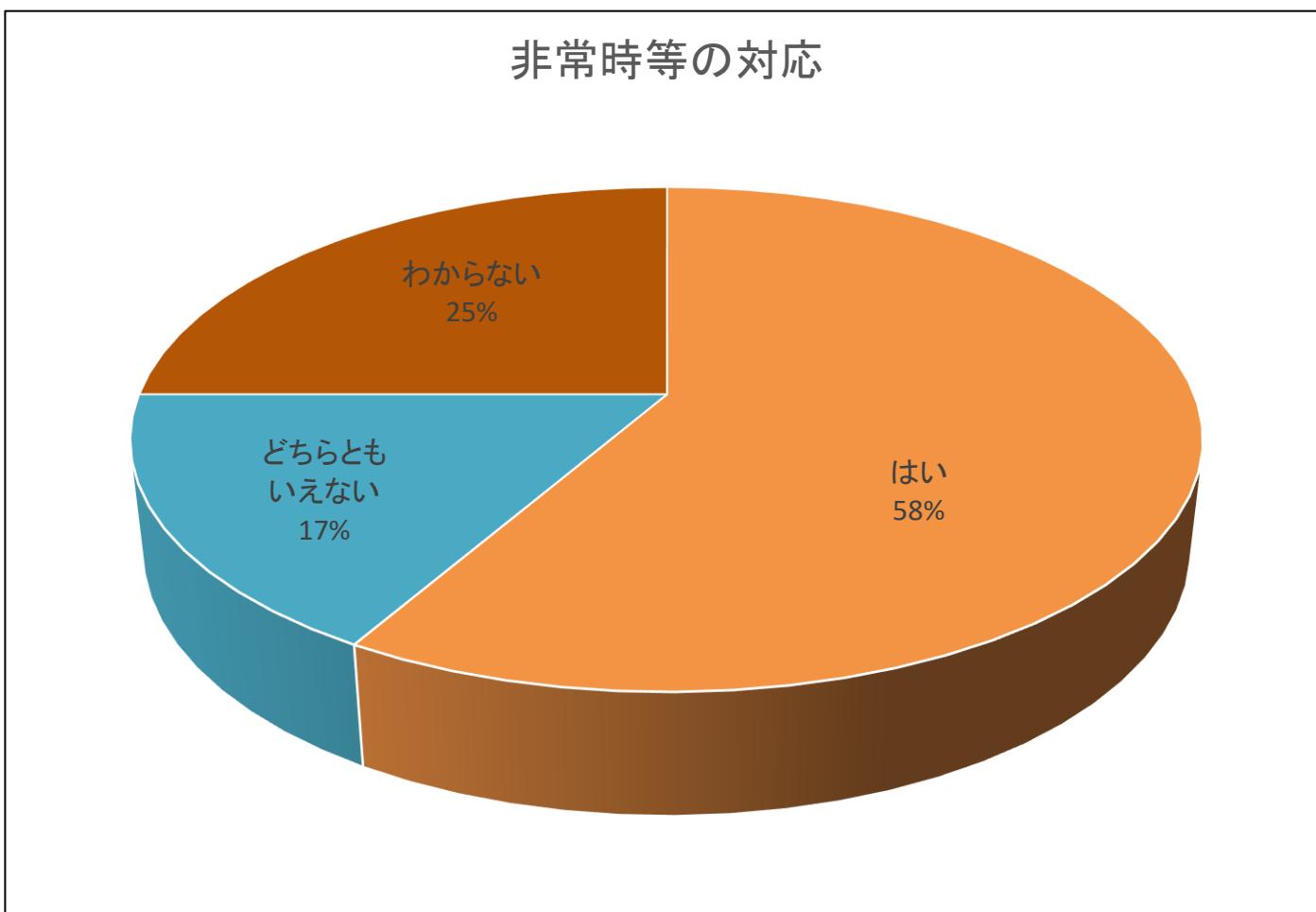
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		* 子どもたちの思いを受け止め、一人ひとりの特性に応じた支援を行えるように配慮している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0		* 前もって計画し公表した支援プログラムに基づき支援を行うよう心掛けている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		* 保護者や子どもたちのニーズを会議やモニタリング時に把握し、放課後等デイサービス計画に反映するよう作成している。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	2		* 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの支援内容や必要な項目を設定し、放課後等デイサービス計画に反映するよう具体的な支援内容を設定している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1	0	1		* 支援計画に基づき日々の支援を行うよう心掛けている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1	0	2	* 地震後は、なかなか難しいように感じています。場所的にも、本人たちも。	* できる限り活動プログラムが固定化しないよう心掛けている。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	2	0	2		* 震災後は交流する機会は減少したが、少しずつイベント等に参加し活動する機会を確保していきたい。
合計			31	4	0	7		



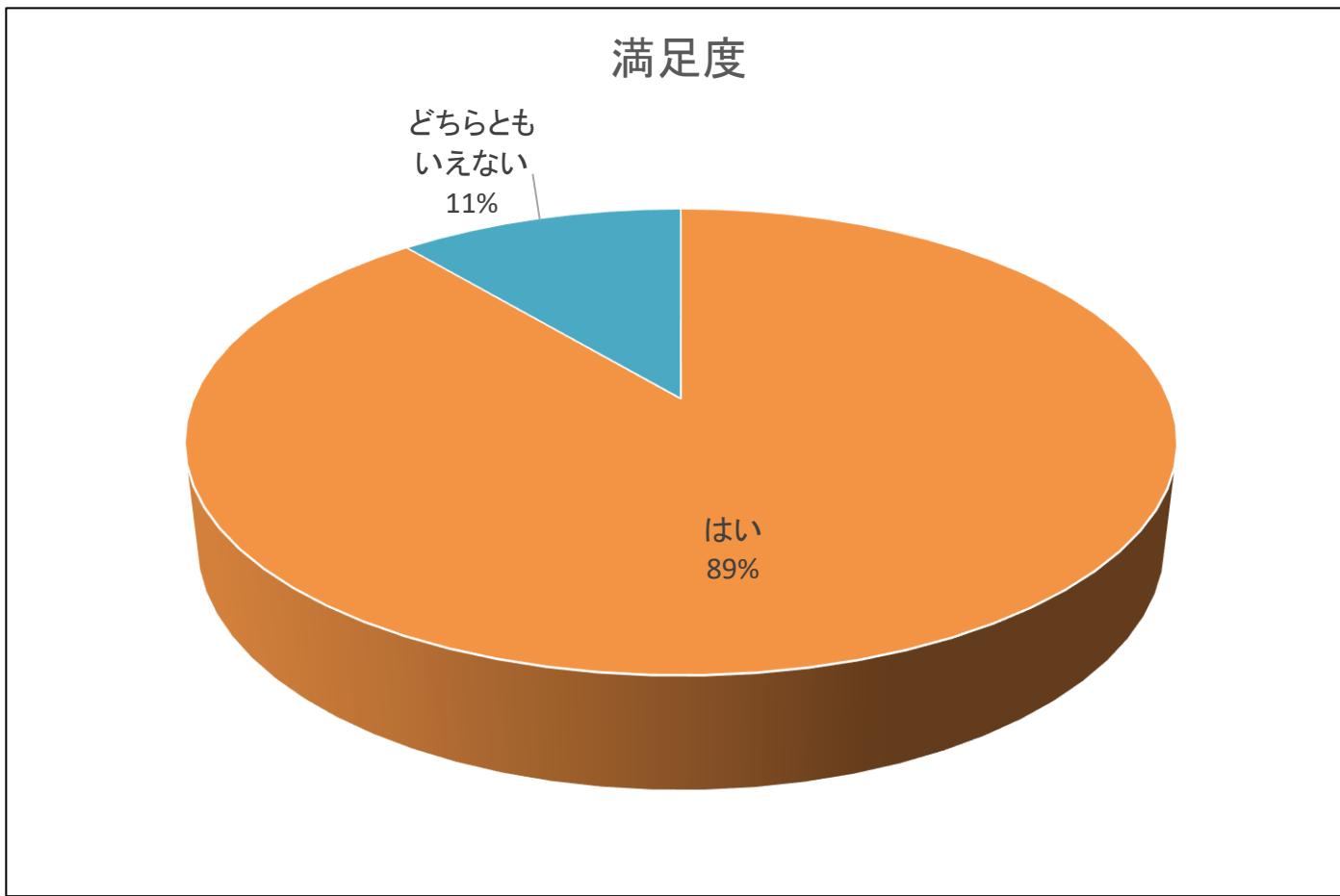
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	2		* 契約時に、口頭と書面で説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	1		* 計画書作成後に、書面を提示しながら口頭で説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	0	2		* 家族支援プログラムについては職員が研修で学んでおり、必要時にはご家族に参加いただけるよう情報提供します。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		* 毎日の送迎時に保護者様にその日の様子をお伝えし、連絡帳等を活用して共通理解を図っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		* 半年に一度モニタリング時に面接し、子育て等に関する助言を行っているほか、随時保護者からの相談に応じる体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		* 子どもたちやご家族のニーズを把握し、共感的に支援するよう心掛けています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	4	0	2	* 地震後は、なかなか難しいように感じています。場所的にも、本人たちも。 * 参加する保護者さんも限られているように思います。	* 震災後は参加者や場所の関係で保護者会の開催が困難であったが、今後はできるだけ開催する方向で計画していきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	2		* 子どもたちやご家族の相談や申し入れに随時対応できる体制を整えるとともに、SNSやお便り等で周知しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	0	0		* 子どもたちやご家族に対し、信頼関係を構築し、意思の疎通やコミュニケーションがしやすいよう配慮しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	0		* 再開後は毎月行事予定のお便りを発行し、今後は親の会の会報についても作成していきます。自己評価の結果についてはホームページで公表し、お便り等で配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていますか。	6	0	0	0		* 職員に周知徹底しています。
合計			49	7	0	9		



		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2	0	2	* 訓練が行われていても実際に参加することが難しいです。	* 保護者会や保護者向けのおたよりでわかりやすく説明し、周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	2	0	2	* 訓練が行われていても実際に参加することが難しいです。	* 半年に1回全サービス共通の訓練を実施しています。* 法人のSNSにも掲載しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1		* 避難訓練や感染防止対策について記載したお便りを配布し、安全計画に沿って支援しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	1		* 事故発生後の緊急時については事業所内の連絡体制が整っており、速やかに状況説明や報告ができるようになっています。
合計			14	4	0	6		



		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		* 安心して通所できるよう環境や職員の教育に配慮しています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	1	0	0		* 子どもたちが楽しみに通所できるよう環境を整えたり、職員の資質の向上を目指しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1	0	0		* 満足していただけるよう、より一層支援や職員の資質の向上を目指します。
合計			16	2	0	0		



\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。